

地域と学校が近くなる「学校支援ボランティア事業」

鹿児島市鹿児島市

活動名

学校支援ボランティア事業

関係する学校

鹿児島市立宇宿小学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
土曜日の教育活動				
学校支援地域本部	1人	52人	22年度	有
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要

鹿児島市では、昭和48年から全小学校区を単位として、学校・町内会・各種社会教育関係団体等の代表で構成される校区公民館運営審議会を設置している。審議会では、これまでに青少年の健全育成や校区民の生涯学習のための事業を実施するなどして、大きな成果をあげてきた。このことを踏まえ、本審議会を地域教育協議会に指定し、「地域の教育力」を生かした本市独自の「学校支援ボランティア事業」を平成20年度から推進してきており、25年度には36本部70小学校での実施となった。

宇宿小学校地域本部では、平成22年度から本事業を実施し、地域住民だけでなく、保護者にもボランティア登録を継続依頼するなど着実に成果を挙げてきている。

特に、年間をとおした、国語と算数などの学習支援活動とあわせて、登下校指導や読み聞かせの支援なども幅広く行っている。その結果、児童の安全確保や教員が児童と向き合う時間の拡充につながっている。これらの活動を通して、地域と学校の連携が深まり、地域の教育力の向上にもつながっている。

特徴

【特徴的な活動内容】

低学年児童や特別な支援が必要な児童への、国語や算数の学習支援と補助が特に充実している。平成25年度は、国語科で延べ196人が、算数科は延べ152人のボランティアが参加した。また、読み聞かせや登下校指導、学校行事の支援も行うなど、多様な支援体制もできている。

ボランティアを、保護者や地域住民に広く募ることにより登録者の増加を図り、登録した方がやりがいを感じるにより、活動の継続につながっている。

【実施に当たっての工夫】

教職員に対して事業の説明会をしている。活用については、学年会等で検討がなされており、実施日には、職員朝会でどの学級に何のボランティアが入るということを職員に周知している。

地域住民へ活動の理解を深めるために、活動状況やボランティアの登録状況について、地域教育協議会(地域本部を設置している小学校区の校区公民館運営審議会を地域教育協議会として位置づけている)で説明するとともに、町内会長に募集チラシの配布を依頼している。また、下校指導において、危険箇所と人員の配置について具体的なアドバイスをもらったり、水泳指導の際にボランティアとして活動してくれそうな人を紹介してもらったりするなど、地域の子供と一緒に見守ろうという意識を高める機会にもなっている。

事業を実施して

地域住民が学校を支援することにより、教師と児童が向き合う時間が増えた。

子供たちが地域住民と交流することにより、お互いのあいさつや住民からの声かけが積極的に行われるようになった。

本事業により、子供の学習意欲の向上も図られた。



交通安全教室



登下校安全指導(集団下校)